

平成17年度 広島国道事務所事業概要

1. 平成17年度事業費

広島国道事務所においては、活力ある広島都市圏の再構築と地域社会の連携と再生を支える道づくりを進めていきます。

費目	H17年度当初事業費 実施計画額(百万円)	H16年度当初事業費 実施計画額(百万円)	伸び率 (H17/H16)
道路事業費	26,811	28,340	0.95

百万円以下の端数は切り捨てています。

2. 平成17年度事業概要(トピックス)

広島都市圏をの経済活力を支えるみちづくりを進めます

一般国道2号 東広島バイパス	(事業促進)	
一部開通予定(中野IC~海田東IC間)	P 1
一般国道2号 安芸バイパス	(事業促進)	
一般国道2号 広島南道路	(事業促進)	
宇品地区工事促進	P 2
一般国道2号 西条バイパス	(事業促進)	
一般国道2号 西広島バイパス	(事業促進)	
廿日市高架橋工事促進	P 3
一般国道54号 佐東拡幅	(事業促進)	
一般国道185号 安芸津バイパス	(事業促進)	
一部工事着手(三津地区~木谷地区間)	P 4
一般国道375号 東広島・呉自動車道	(事業促進)	
下三永トンネルの工事促進	P 5

安全で快適な人優先の道づくりを進めます

自転車歩行者道のバリアフリー化

一般国道185号 呉市本通 自転車歩行者道整備	P 6
--------------------------------	-------	-----

安全で安心できる暮らしを目指した道づくりを進めます

大規模地震に対する震災対策の推進

『緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラム』の策定と対策の推進		P 7
---	--	-----

環境改善を目指した道づくりを進めます

沿道環境の改善

一般国道2号 西広島バイパス 高須地区遮音壁設置	P 8
---------------------------------	-------	-----

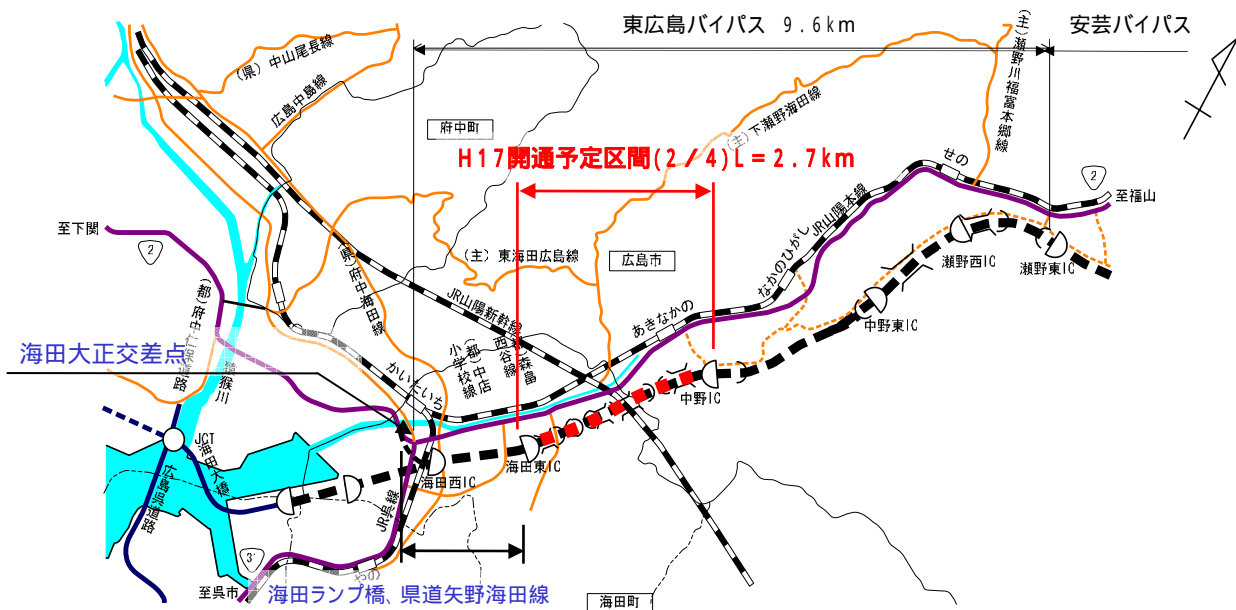
一般国道2号 ^{ひがしひろしま} 東広島バイパス

一部開通予定(^{なかの} 中野IC ~ ^{かいたひがし} 海田東IC間)

東広島バイパスは、一般国道2号の慢性的な交通渋滞の解消や、交通安全性・利便性の向上を目的とした延長9.6kmの自動車専用道路で、地域高規格道路「東広島廿日市道路」の一部を構成する道路です。

現在、改良・橋梁・トンネル工事を促進しており、平成17年度は、中野インターから海田東インター間の約2.7kmが開通する予定です。

これにより、既供用区間の海田ランプ橋及び県道矢野海田線に自動車専用道路が接続され、大幅な交通改善が期待されます。



期待される整備効果

- 渋滞緩和及び時間短縮**
 - ・一般国道2号の混雑緩和が期待されます。
- 交通安全**
 - ・交通がバイパスに転換することにより、現道の事故減少が期待されます。

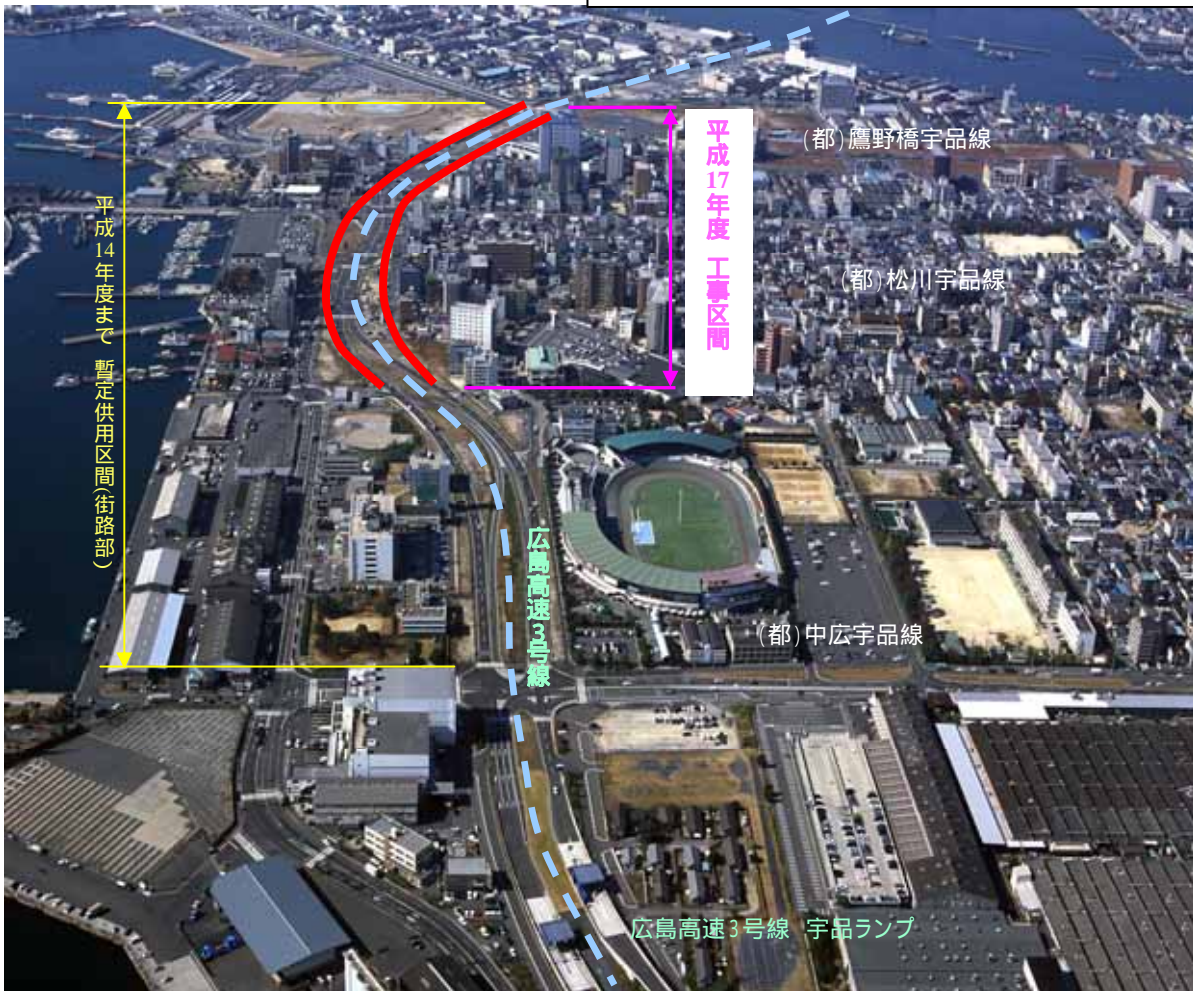
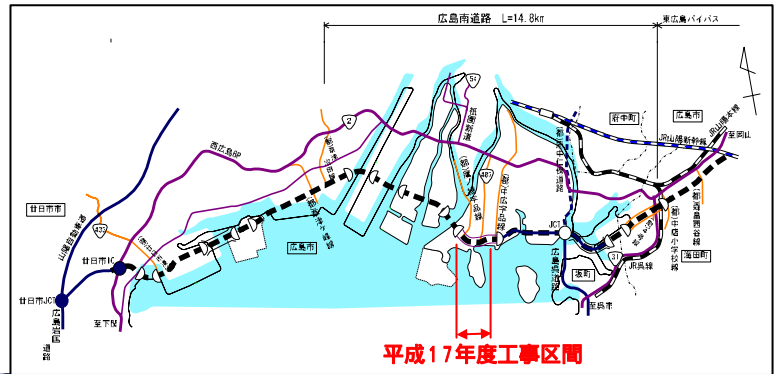
ひろしまみなみ 一般国道2号 広島南道路

うじな 宇品地区工事促進

広島南道路は、道路交通の円滑化、都市機能の向上を図ること等を目的に計画された、延長14.8kmの道路であり地域高規格道路「東広島廿日市道路」の一部を構成する道路です。

平成元年度に事業着手し、平成14年度までに広島高速3号線、臨港道路を含め延長8.4km(2/4～4/6)を順次供用してきたところです。

平成17年度は、平成14年度に暫定形で供用開始した、広島市南区宇品地内の街路部のうち延長約1.0kmの区間について専用部の広島高速3号線の施工を行うための、車線切り回し工事に着手します。



期待される整備効果

渋滞緩和及び時間短縮

・広島都市圏の慢性的な混雑緩和が期待されます。

地域間の連携強化

・広島デルタ南部の臨海部と周辺諸都市を直結することで地域間の交流が促進され、地域経済・産業・文化の発展が期待されます。

にしひろしま 一般国道2号 西広島バイパス

はつかいち

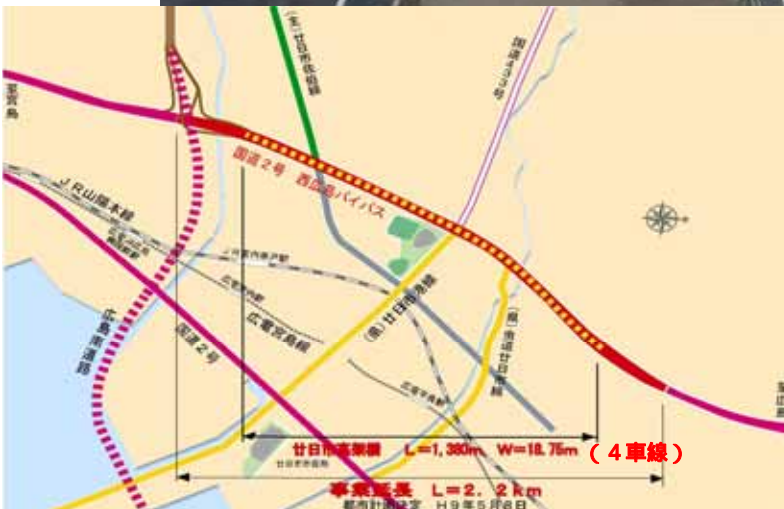
廿日市高架橋工事促進

廿日市高架橋は、一般国道2号西広島バイパスの主要渋滞ポイントである速谷・宮内交差点及び上平良交差点をまたぐ延長2.2km(高架橋1.4km)の高架事業です。

平成15年度に工事着手し、平成16年度までに本線部の橋台1基(全2基)、橋脚22基(全29基)が完成したところです。

平成17年度は、引き続き本線部橋脚の整備及び廿日市インターチェンジへ高架橋からアクセスするランプ橋の下部工事に着手します。

廿日市高架橋工事状況



【期待される整備効果】

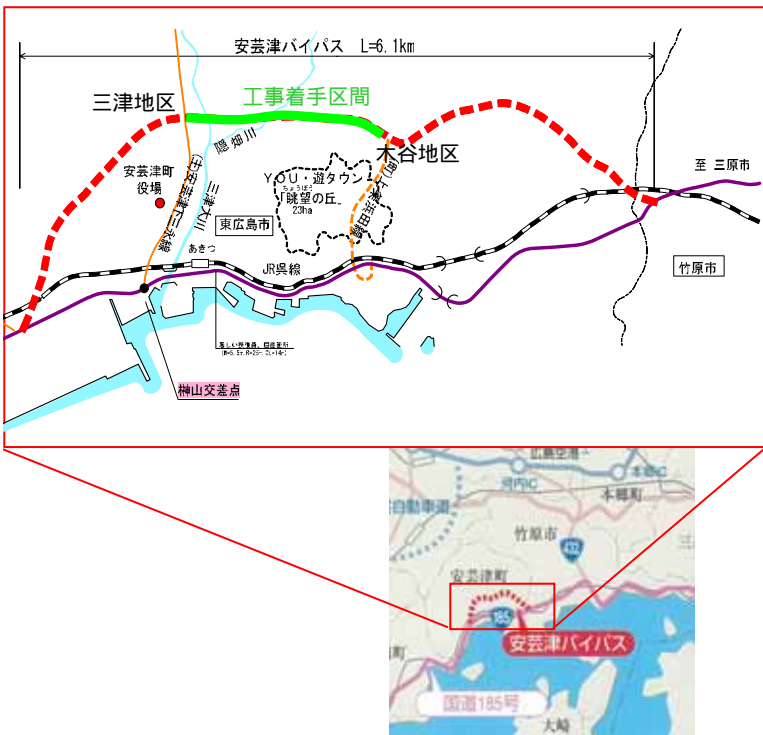
国道2号の通過時間、交差点から進入する車の待ち時間が大幅に減少します。
交通の円滑化が図られ、低騒音舗装の実施などにより沿道環境の改善が期待されます。
渋滞車両への追突事故、交差点における右折直進車事故等の交通事故の減少が期待されます。

一般国道185号 安芸津バイパス あきつ

一部工事着手(三津地区みつ～木谷地区きだに間)

一般国道185号は、安芸津町中心部において、道路幅員の狭い箇所やカーブのきつい箇所が存在し、交通処理上ネックになっています。また、歩道も未整備のため、歩行者等にとっては非常に危険な状況にあります。さらに、主要地方道安芸津下三永線と交差する榊山交差点は、朝夕のラッシュ時を中心に渋滞が発生しています。

安芸津バイパスは、これらの問題を解消するため計画され、平成11年度より事業を開始、平成17年度においては、一部区間で工事を開始する予定としています。



【安芸津バイパス工事着手区間の主要構造物】

【安芸津バイパスができると】

整備効果

朝夕ラッシュ時がこう変わる

完成後
安芸津バイパス: 約6分

現状
国道185号: 約15分

現道の問題も解消

安心・安全だね。

町の中心部を迂回する安芸津バイパスは、自動車の走行性が良く、走行時間の短縮や定時性が確保されます。同時に、現在の国道185号の慢性的な渋滞も解消され、通勤・通学などの利便性の向上、産業活動の効率化、地域の活性化が促進されます。

さらに・・・

安芸津バイパスは、**新東広島市**の各地域間を結ぶ環状道路の一部として、地域間の交流促進と新市の一体性の強化に貢献します。

榊山交差点(渋滞ポイント)

カーブのきつい箇所

歩道の未整備状況

一般国道375号 東広島・呉自動車道

下三永トンネルの工事促進

東広島・呉自動車道は、呉市から山陽自動車道へのアクセス強化を図ることを目的として計画された、延長32.8kmの一般国道の自動車専用道路です。平成5年度に事業着手し、用地買収を促進するとともに東広島JCTから馬木IC間及び郷原ICから阿賀IC間の工事を促進しているところです。

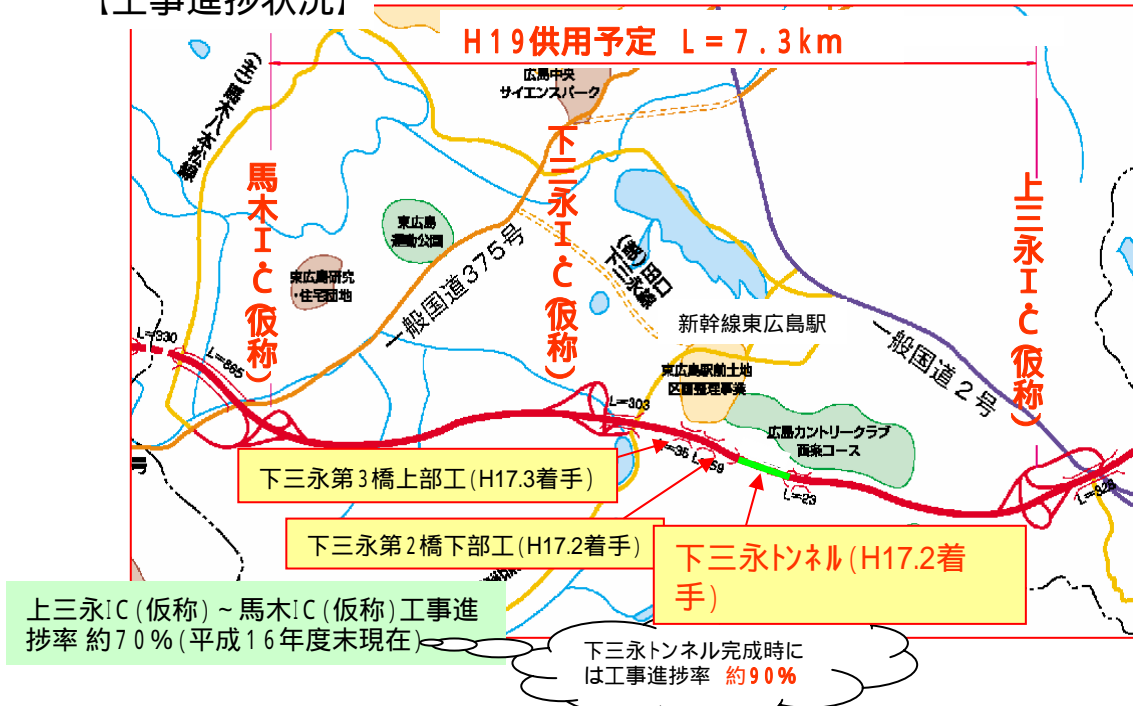
平成17年度は、用地買収及び改良・橋梁・下三永トンネル、揚山トンネル工事を促進することとしています。

平成19年度の部分供用に向けて（上三永IC（仮称）～馬木IC（仮称））



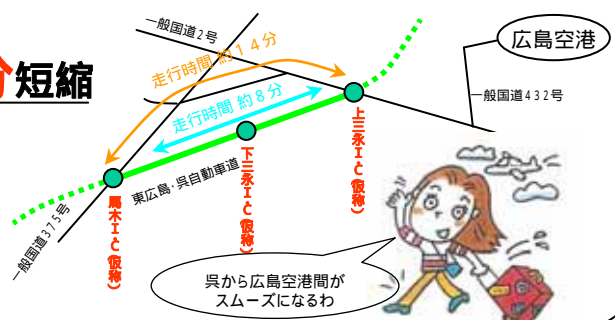
下三永トンネルを東広島市側から臨む

【工事進捗状況】



近くなる 呉市～広島空港が6分短縮

呉市～広島空港は、これまでの一般国道375号利用から、今回、一部供用する東広島・呉自動車道を利用することにより、走行時間短縮、安全性が向上します。



自転車歩行者道のバリアフリー化

一般国道185号 呉市本通 ^{くれ} ^{ほんどおり} 自転車歩行者道整備

広島国道事務所においては、交通バリアフリー法の移動円滑化基本構想の策定地区や、あんしん歩行エリアに指定されている地区等において、歩道の勾配や段差の改善、視覚障害者誘導ブロック等の整備を行うことで、誰もが利用しやすい歩行空間のバリアフリー化を行い、高齢者や通学児童等、誰もが安心して通行できる歩行空間ネットワークの整備を進めています。

平成17年度においては移動円滑化の基本構想が策定されている一般国道185号呉市本通において、スムーズ歩道化、視覚障害者ブロックの改善等の整備を引き続き行います。



改善前

整備効果

歩道をスムーズ歩道化することにより、歩道の凹凸が軽減され、歩き易くなります。

国道と市道の間で、段差を生じさせることにより、車の速度を抑制する効果があり、歩行者や自転車との事故が減少することが期待されます。

改善後

【整備イメージ】



視覚障害者誘導ブロックの改善

段差や勾配の改善



大規模地震に対する震災対策の推進

『緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラム』 の策定と対策の推進

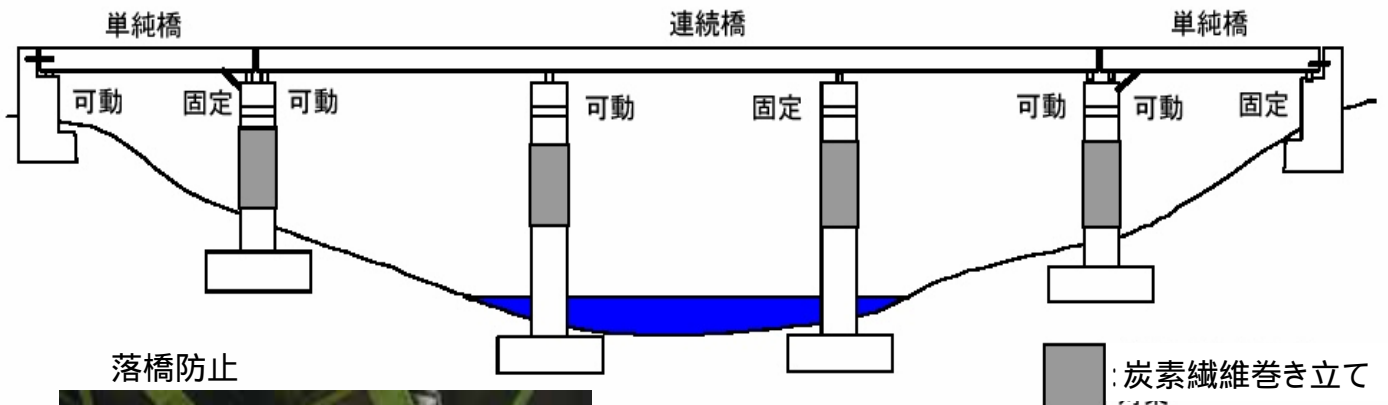
福岡県西方沖地震、新潟県中越地震、北海道十勝沖地震などの地震が頻発し、また、東海地震、東南海・南海地震等の大規模地震の逼迫性が指摘されていることから、橋梁の耐震補強を重点実施し、緊急輸送道路の機能を確保する事を目的に「緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラム」を策定して対策を推進していきます。

【施策概要】

緊急輸送道路ネットワークの要となる直轄国道については、古い設計基準の単柱橋脚の耐震補強をおおむね3箇年で完了するよう実施します。

緊急輸送道路における橋梁耐震補強対策イメージ

- ・落橋等の甚大な被害を防止し、緊急輸送道路としての機能の確保を図ることを目的に、炭素繊維巻き立て補強工法による耐震補強を、平成17年度より重点的に行います。
- ・単純桁形式の複数径間橋などを対象に落橋防止対策を行います。



海田高架橋における落橋防止の例

【平成17年度の事業予定】

- ・一般国道2号 平野橋 等において橋梁耐震補強対策を実施します

沿道環境の改善

一般国道2号西広島バイパス 高須地区遮音壁設置

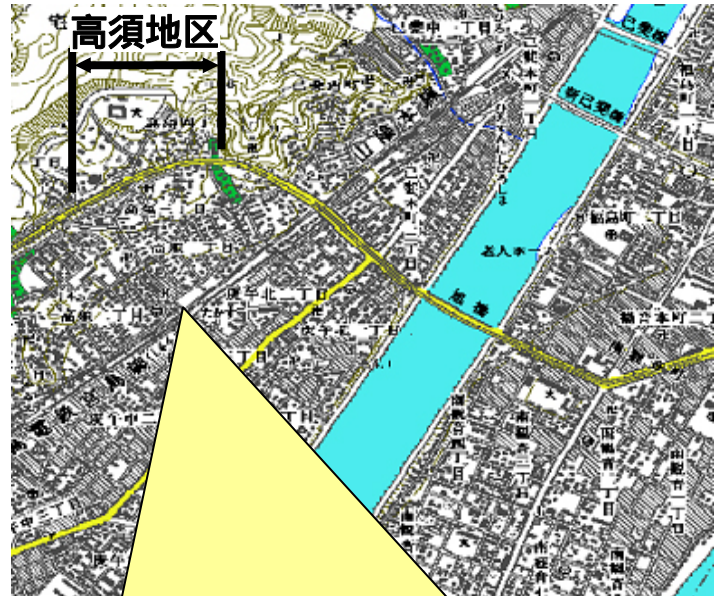
広島国道事務所管内の騒音の現状は、夜間要請限度（70dB）を越える区間が約5割であり、沿道騒音の改善を早急に行う必要がある状況です。沿道環境対策については、今後も関係機関との連携を図りつつ総合的・計画的に沿道環境改善に向けた道路構造対策等を進め、道路交通による騒音等の改善に努めます。

平成17年度においては一般国道2号西広島バイパス高須地区等において遮音壁の整備を進めるとともに、夜間要請限度を超える地区等において、低騒音舗装の整備を進めていきます。

広島都市圏における騒音の現状



要請限度(70db)超過
環境基準(65db)超過
環境基準(65db)以下



【資料:平成14年度環境センサスデータ】

注:環境センサスとは官民境界の高さ1.2mで測定しており、沿線に中高層マンション等がある場合は、環境基準超過となる場合もあります。

一般国道2号 西広島バイパス高須地区遮音壁設置状況



平成16年3月
(施工前)



平成17年3月



平成18年3月予定
(完成イメージ)